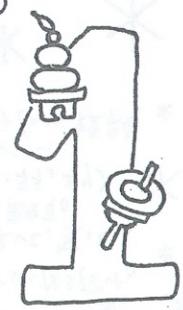


2022, vol. 98

とくとおとどけ



「とくとおとどけ」
は司書による
ミニ新聞です。本をものと好みに
図書館をもっと身近に感じてもらいたく... 月号
という本棚から生まれました。
2022年 最初の号です。今年も直方市立図書館をよりいとお願ひ致します。

イベントのご案内

2月

- 0日(水) 春のこいのぼりおはなし会
(11:00~ *おはなしコーナーにて)
- 4日(土) 工曜シター (映画上映)
(4:00~ 『誓いの休暇』
*2x=ティ1小ホールにて)
- 28日(土) まぼろしの箱 (おはなし会)
(4:00~ *おはなしコーナーにて)
- 29日(日) 職員おはなし会
(4:00~ *おはなしコーナーにて)

3月

- 4日(土) やまびこ会 (おはなし会)
(4:00~ *おはなしコーナーにて)
- 25日(土) 又又やま (おはなし会)
(4:00~ *おはなしコーナーにて)
- 26日(日) おもちや満席
(10:00~ 4:00 *図書館2Fにて
職員おはなし会
(4:00~ *おはなしコーナーにて)

展示のご案内

- 趣味・健康 2/27(水)~2/24(火)
- 書評集 2/23(水)~2/26(木)
- 冬のイベント大集合!!
(2/1(水)~2/24(火))
- 司書のおやすみ本特集
2/26(木)~

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29			
29	30	31											

□はおやすみです ※太字は17時閉館です

直方市立図書館 tel.0949-25-2240
URL: <http://www.yumenity.jp/library/library.html>
開館時間 火~土 10:00~19:00、日・祝 10:00~17:00

おしらせ

① インド×インド おもちや講座

* * タオロのおうちでくまさんかくれん(主) * *
日: 平成24年3月7日(水)・4日(水) 参加費: ￥200
時間: 13:00-15:00 / 場所: 2x=ティ2階会議室
募集期間: 平成24年1月4日(水)~1月31日(火)



② 春からボランティアスタート6 初心者のための絵本読み聞かせ講座

日: 平成24年3月2日(金)・6日(金)
参加費: 無料 / 時間: 10:00-12:00
場所: 2x=ティ2階会議室
申込期間: 平成24年1月4日(水)~2月12日(日)

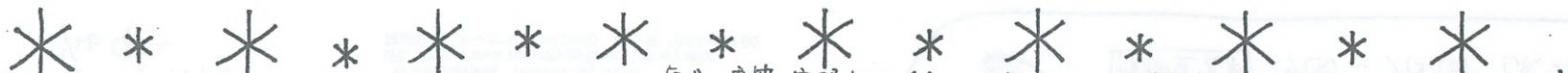


上記①②の講座は、いずれも言語検定(有料)の
詳しくは 館内西2階のチラシをご覧ください

③ 蔵書点検のご案内

日: 平成24年2月13日(月)~23日(木)
期間中は閉館となります。ご迷惑をおかけ
しますがご了承ください。尚、蔵書点検に伴い、貸出
を停止します。この機会にぜひご利用ください。
図書 1/31(水)~2/2(日) 15冊3週間まで
雑誌 2/7(水)~2/12(日) 5冊2週間まで
視聴覚資料 2/7(水)~2/12(日) 1点2週間まで





* 箱庭図書館、2-著 (Fオ) *

素人のボツ(原稿)を作家・2-が手直しして一風変わった短編作品集の収録作品の白木ワット・ステック編では、雪が白一色に染めた日に見つけた華やかなから年々ますます奇麗さが際立っています。(7歳)で作家デビューを果たした福岡県出身の著者です。一読してみればいかがでしょうか。

* * * * *

「雪の色が白のは グラムにはないドイツの昔話」(388.3シ)

ドイツの昔話といえは「グレイプ」ですが、ドイツには他にも古くから語りつがれてきた昔話がいくつも存在しており、タイトルの「雪の色が白のは」というものがその昔話です。雪には「色」がなくて、色はほの雪は様々な花の色をわけとくべなうかと頼みに任せますが、断られてしまいます。

果たに色をわけとくべなう花は現れるのでしょうか。(他にも昔話が紹介されており、大人も楽しめる(冊子)。

* * * * *

「生霊の如き重さの、三津島(信三(Fシ))

「口」形を以て四家の女主人を訪問中、刀城島那。とて、雪の降る中庭を下馬場を以てして、ゆかに自撃する。さらには中庭の四阿には宿泊客の一人が倒れていて、雪気重と言はれ、足跡の謎。おこはあかぬ足跡の謎など、謎と怪奇話が楽しめる(他編)。

* * * * *

「青い羊の丘」(竹下文子著 (Yfオ))

うっわと泣かぬ。足元には何もない。うっわとほとほと悲しくなる。上を見とらん。空はこんなにまわいたよ。見上げて、深呼吸して、笑こ。雲のふちから寒くぬいて、白い羽を一枚、指先からとと離すと。

「白い羽」より) 綺麗で繊細で、優しい、少し哀しい...

「ビッド」の中で「毎日少しづつ読みたい」短編集です。

* * * * *

「さらさら」谷川(俊太郎(EQ11カ)) 世にも美しいものが空からふりそそぐ。目には見えない、透明でさらさらしたかきこまうのおとりの、それは雪。自然は時に恐ろしいけれど、こころはきれいなものを寄越してくれよ。みんな六角形だけれど同じ模様がない。雪の結晶。雪の結晶の写真を谷川(俊太郎)が言葉をつけた。寒さ辛い雪の日も少しは楽しくなるかも。

* * * * *

「雪の色が白のは」(388.3シ) シヤット・ニント: 編 大森幸子: 訳

ドイツの昔話といえは「グレイプ」ですが、ドイツには他にも古くから語りつがれてきた昔話がいくつも存在しており、タイトルの「雪の色が白のは」というものがその昔話です。雪には「色」がなくて、色はほの雪は様々な花の色をわけとくべなうかと頼みに任せますが、断られてしまいます。

果たに色をわけとくべなう花は現れるのでしょうか。(他にも昔話が紹介されており、大人も楽しめる(冊子)。

* * * * *

「口」形を以て四家の女主人を訪問中、刀城島那。とて、雪の降る中庭を下馬場を以てして、ゆかに自撃する。さらには中庭の四阿には宿泊客の一人が倒れていて、雪気重と言はれ、足跡の謎。おこはあかぬ足跡の謎など、謎と怪奇話が楽しめる(他編)。

「青い羊の丘」(竹下文子著 (Yfオ))

うっわと泣かぬ。足元には何もない。うっわとほとほと悲しくなる。上を見とらん。空はこんなにまわいたよ。見上げて、深呼吸して、笑こ。雲のふちから寒くぬいて、白い羽を一枚、指先からとと離すと。

「白い羽」より) 綺麗で繊細で、優しい、少し哀しい...

「ビッド」の中で「毎日少しづつ読みたい」短編集です。

* * * * *

「さらさら」谷川(俊太郎(EQ11カ))

世にも美しいものが空からふりそそぐ。目には見えない、透明でさらさらしたかきこまうのおとりの、それは雪。自然は時に恐ろしいけれど、こころはきれいなものを寄越してくれよ。みんな六角形だけれど同じ模様がない。雪の結晶。雪の結晶の写真を谷川(俊太郎)が言葉をつけた。寒さ辛い雪の日も少しは楽しくなるかも。

* * * * *

「雪の色が白のは」(388.3シ) シヤット・ニント: 編 大森幸子: 訳

ドイツの昔話といえは「グレイプ」ですが、ドイツには他にも古くから語りつがれてきた昔話がいくつも存在しており、タイトルの「雪の色が白のは」というものがその昔話です。雪には「色」がなくて、色はほの雪は様々な花の色をわけとくべなうかと頼みに任せますが、断られてしまいます。

果たに色をわけとくべなう花は現れるのでしょうか。(他にも昔話が紹介されており、大人も楽しめる(冊子)。

* * * * *

「口」形を以て四家の女主人を訪問中、刀城島那。とて、雪の降る中庭を下馬場を以てして、ゆかに自撃する。さらには中庭の四阿には宿泊客の一人が倒れていて、雪気重と言はれ、足跡の謎。おこはあかぬ足跡の謎など、謎と怪奇話が楽しめる(他編)。

「青い羊の丘」(竹下文子著 (Yfオ))

うっわと泣かぬ。足元には何もない。うっわとほとほと悲しくなる。上を見とらん。空はこんなにまわいたよ。見上げて、深呼吸して、笑こ。雲のふちから寒くぬいて、白い羽を一枚、指先からとと離すと。

「白い羽」より) 綺麗で繊細で、優しい、少し哀しい...

「ビッド」の中で「毎日少しづつ読みたい」短編集です。

* * * * *

「さらさら」谷川(俊太郎(EQ11カ))

世にも美しいものが空からふりそそぐ。目には見えない、透明でさらさらしたかきこまうのおとりの、それは雪。自然は時に恐ろしいけれど、こころはきれいなものを寄越してくれよ。みんな六角形だけれど同じ模様がない。雪の結晶。雪の結晶の写真を谷川(俊太郎)が言葉をつけた。寒さ辛い雪の日も少しは楽しくなるかも。

* * * * *

「雪の色が白のは」(388.3シ) シヤット・ニント: 編 大森幸子: 訳

ドイツの昔話といえは「グレイプ」ですが、ドイツには他にも古くから語りつがれてきた昔話がいくつも存在しており、タイトルの「雪の色が白のは」というものがその昔話です。雪には「色」がなくて、色はほの雪は様々な花の色をわけとくべなうかと頼みに任せますが、断られてしまいます。

果たに色をわけとくべなう花は現れるのでしょうか。(他にも昔話が紹介されており、大人も楽しめる(冊子)。

* * * * *

「口」形を以て四家の女主人を訪問中、刀城島那。とて、雪の降る中庭を下馬場を以てして、ゆかに自撃する。さらには中庭の四阿には宿泊客の一人が倒れていて、雪気重と言はれ、足跡の謎。おこはあかぬ足跡の謎など、謎と怪奇話が楽しめる(他編)。

「青い羊の丘」(竹下文子著 (Yfオ))

うっわと泣かぬ。足元には何もない。うっわとほとほと悲しくなる。上を見とらん。空はこんなにまわいたよ。見上げて、深呼吸して、笑こ。雲のふちから寒くぬいて、白い羽を一枚、指先からとと離すと。

「白い羽」より) 綺麗で繊細で、優しい、少し哀しい...

「ビッド」の中で「毎日少しづつ読みたい」短編集です。

* * * * *

「さらさら」谷川(俊太郎(EQ11カ))

世にも美しいものが空からふりそそぐ。目には見えない、透明でさらさらしたかきこまうのおとりの、それは雪。自然は時に恐ろしいけれど、こころはきれいなものを寄越してくれよ。みんな六角形だけれど同じ模様がない。雪の結晶。雪の結晶の写真を谷川(俊太郎)が言葉をつけた。寒さ辛い雪の日も少しは楽しくなるかも。

* * * * *

「雪の色が白のは」(388.3シ) シヤット・ニント: 編 大森幸子: 訳

ドイツの昔話といえは「グレイプ」ですが、ドイツには他にも古くから語りつがれてきた昔話がいくつも存在しており、タイトルの「雪の色が白のは」というものがその昔話です。雪には「色」がなくて、色はほの雪は様々な花の色をわけとくべなうかと頼みに任せますが、断られてしまいます。

果たに色をわけとくべなう花は現れるのでしょうか。(他にも昔話が紹介されており、大人も楽しめる(冊子)。

* * * * *

「口」形を以て四家の女主人を訪問中、刀城島那。とて、雪の降る中庭を下馬場を以てして、ゆかに自撃する。さらには中庭の四阿には宿泊客の一人が倒れていて、雪気重と言はれ、足跡の謎。おこはあかぬ足跡の謎など、謎と怪奇話が楽しめる(他編)。

「青い羊の丘」(竹下文子著 (Yfオ))

うっわと泣かぬ。足元には何もない。うっわとほとほと悲しくなる。上を見とらん。空はこんなにまわいたよ。見上げて、深呼吸して、笑こ。雲のふちから寒くぬいて、白い羽を一枚、指先からとと離すと。

「白い羽」より) 綺麗で繊細で、優しい、少し哀しい...

「ビッド」の中で「毎日少しづつ読みたい」短編集です。



「白」

